

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月30日	作成者名	浜野康彦・山崎康之	評価者名	石橋 功吏
-----	------------	------	-----------	------	-------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	中心となる課	上下水道部・上下水道経営課
分野	07 上下水道	関係課	上下水道部・水道施設課
施策	61 効率的な上下水道事業の運営		上下水道部・下水道施設課
施策の目的	上下水道事業の効率的な運営を図るとともに、適切な上下水道料金を設定し、安定した水の供給を行うことによって、市民がいつでも安心して上下水道を利用できるようにします。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	水道料金事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
上水道料金回収率	上水 供給単価/給水原価 (上水道料金で賄える給水の費用割合)	%	100	88.6	94.5	96	96.4		
下水道料金回収率	下水 使用料単価/汚水処理原価 (使用料で賄える汚水処理費用割合)	%	100	85.9	91.9	113.8	117.9		
その他施策の取組事項に係る成果									

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	水道事業は、今後、施設の老朽化に伴う更新・耐震化費用の増加していくため、経営状況を鑑みて水道事業中期経営計画に基づき事業費の確保が必要である。 また、下水道事業は平成29年度の使用料改定により独立採算を達成したが、汚水整備の推進や浸水対策の費用が増加することが予測される。	対応策	水道事業は、平成30年度に中期経営計画を策定した。その中で財政収支計画を作成し、今後増加していく事業費確保についての見通しと経営方針を決定した。 また、下水道事業は平成29年度の使用料改定により、下水道料金回収率が100%を超え、適正な使用料水準となったが、更なる徴収率向上に向け事務の見直しを徹底します。
----	---	-----	--

## ○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	水道料金回収率について水道事業は前年度を上回ったものの、依然として目標には達していない。一方、下水道事業は使用料改定により目標の使用料回収率100%を超え、適正な使用料水準となった。
<b>B</b>		
今後の方向性(人員/予算) (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	包括的民間委託の導入により平成28年度に人員を1名を削減した。当面はこの体制を維持し、予算は必要最小限の経費で効果が得られるよう努める。今後も包括的民間委託を継続していくことを前提に次期委託に向けて準備を進める。水道・下水道事業ともに、財源確保に努め、ビジョンや経営計画に基づき事業推進を図り、経営健全化に努める。
<b>→</b>		

## (評価者コメント)

水道事業は、料金回収率が100%を下回っており給水に係る費用が料金収入で賄えていない状況である。水道事業中期経営計画を策定したが、今後、経営状況を注視しながら水道料金の改定について検討していく。また、下水道事業は、使用料改定により料金回収率も目標とする100%を超え、私費負担である汚水処理費用が使用料収入で賄えるようになった。 今後も、上下水道事業を安定して持続していくために、ビジョンと経営計画に基づき計画的・効率的に事業運営を実施していく。
--

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月30日	作成者名	浜野康彦・山崎康之	評価者名	石橋 功吏
-----	------------	------	-----------	------	-------

## 5. 事務事業の検討 【特別会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 2 予 算 額	事業費  うち 一般財源		
		事業 区 分	H30決算額		事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 内 優 先 度	コメント				
			R1予算額				施 策 へ の 貢 献 度	経 費 水 準	事 業 手 法	受 益 ・ 負 担 の 公 平 性								
			事業費	うち一般財源														
事業コード		事業内容		R 2 計 画 額														
02 一般管理費 (上下水道経営課)																		
		受益者負担金賦課徴収事業		8,976												受益者負担については、引き続き周知に努め事業に対する理解を深める。	0	
				16,471														
02		03	01	01	02	02	任意	1	B	B	B	B	1	B			0	
		受益者負担金の賦課・徴収を行う。受益者負担金システム		16,471														0
				2,252														
01 長期債元金 (上下水道経営課)																		
		長期債元金		598,213													0	
				588,742														
01		03	05	01	01	01	任意	-	-	-	-	-	-	予			0	
		起債の償還		220,380														
				409														
01 長期債利子 (上下水道経営課)																		
		長期債利子		159,159													0	
				202,949														
01		03	05	01	02	01	任意	-	-	-	-	-	-	予			0	
		起債償還に伴う利払い		65,815														
				341														
xx 資産運用管理事業 (上下水道経営課)																		
		資産運用管理事業		907													0	
				1,014														
00		70	xx	xx	xx	xx	義務	1	B	B	B	B	1	義			0	
		突発的な事態に備え、水道施設の賠償や建物・自動車等の		1,014														
				3,343														
xx 水道会計財務事業 (上下水道経営課)																		
		水道会計財務事業		169													0	
				211														
00		70	xx	xx	xx	xx	義務	1	A	B	A	B	1	義	経営計画に基づいた適正な予算決算を実施していく。		0	
		当初(補正)予算の編成及び執行管理、決算管理、事業計		211														
				13,851														
xx 上下水道広報事業 (上下水道経営課)																		
		上下水道広報事業		924													0	
				1,516														
00		70	xx	xx	xx	xx	任意	1	A	A	A	B	1	A	広報事業の持つ重要性を理解し、積極的な情報発信及び広聴を実施していく。		0	
		上下水道事業について市民等へ広報紙の配布・水道週間の		1,516														
				3,412														
xx 水道料金事業 (上下水道経営課)																		
		水道料金事業		109,503													0	
				125,436														
00		70	xx	xx	xx	xx	義務	1	○	B	A	A	B	1	○	義	包括委託の中で適正に事業を実施し収納率の向上を目指す。	0
		検針、調定、請求書の発行、集金等を行って水道料金の徴		125,436														
				13,646														
計 (千円)				事業費	877,851	R1予算額	936,339	R2計画額	834,789	R2予算額	0							
				うち一般財源	435,234		472,644		430,843		0							

事業の方向性： 1 現状で継続    2 拡大して継続    3 縮小して継続    4 他事業と統合    5 休止    6 その他見直し  
 7 令和2年度で終了    8 令和元年度で終了    9 平成30年度で終了